

ご質問・VEご提案・見積依頼など、どのようなことでもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。



特殊基礎工事

第235号

新技術情報

令和7年12月



〒781-0014 高知県高知市薊野南町12番31号
[URL] <https://www.ko-marutaka.co.jp>

TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641
[Email] marutaka@ceres.ocn.ne.jp

水陸両用掘削機フィリピンへ輸出

弊社が開発した水陸両用掘削機2機を、フィリピンへ向けて出荷いたしました。

本案件は、近年深刻化している洪水や河川氾濫への対策を目的として、フィリピンに導入。導入後は、河川の浚渫工事や災害復旧作業に活用され、地域の防災力向上に寄与することが期待されています。

出荷した掘削機は、浮力を持つフロートを備えた水陸両用仕様で、河川・湖沼・湿地帯などの不整地においても優れた機動力を発揮します。現地では受け入れ準備が進められており、首都マニラ周辺を中心に、来年より本格稼働を開始する予定です。

弊社はこれまで、JICA中小企業支援事業として2017年に5回にわたり案件化調査を実施し、2020年には「JICA普及・実証・ビジネス化事業」に採択されました。2022年8月には水陸両用掘削機をフィリピンへ輸出し、2023年1月に実施した第3回現地調査では、起工式の開催およびラスピニャス川での浚渫実証実験を行っています。その事業がきっかけとなり、今回の輸出となりました。出荷は、2025年11月に南国市防災機材センターを出発し、12月末にフィリピンへ到着する予定です。

本事業を通じて、水陸両用掘削機のさらなるビジネス展開と普及を図り、フィリピンにおける中小河川・排水路の適正な維持管理および洪水被害の軽減に貢献してまいります。



フィリピン防災分野における開発ニーズ(課題)

- ・気候変動により洪水が頻発している。
- ・河川への土砂やごみの堆積により、流下阻害が発生し、氾濫被害が大きくなっている。
- ・河川へ投棄されたごみが海へ流出し、近隣諸国に被害を出している。
- ・アジア圏の国々でも環境対策の取り組みが活発になってきている。

弊社提案製品・技術

- ・水上で自走が可能な水陸両用の浚渫機材。
- ・組立解体が現場で行え、運搬性能が良い。
- ・コンテナに入るサイズで、海外への輸送が容易でコストが削減できる。
- ・アタッチメントの取替えで様々な用途に対応可能。
- ・固定脚(スパッド)の使用により、水上で安定した施工が可能。



高知丸高

60周年記念特刊

株式会社 丸高

高知建設技術センター

FIT-EASY高知店

FIT-EASY南国店

土木工事用の組立台船

当社は、海・ダム・河川・湖・沼など、さまざまな水域での土木工事に対応可能なフロート台船を保有しております。また、大規模地震や南海トラフ地震への備えとして、当社の保有フロート組立台船を防災資機材として活用しています。この台船は、簡便かつ短時間で組立てが可能であり、緊急時の対応力向上や現場作業の効率化に大きく寄与しています。

さらに、フロート組立台船は浚渫工事においても広く利用されています。台風・地震・地滑りなどの災害により土砂がダムへ流入し、堆砂量が増大している昨今、ダムの有効貯水容量を確保するためには、堆積した土砂を除去する浚渫作業が不可欠となっています。そのため、各地のダムにおいて計画的な浚渫工事が進められており、当社のフロート台船はこれらの作業において重要な役割を果たしております。



フロート組立台船**大量**保有

加・クレーン	長：L	幅：B	型深：D	70ト
35 t	9.0m	2.5m	2.0m	14隻
90 t	9.0m	2.5m	2.0m	20隻
120 t	9.0m	2.5m	2.0m	24隻
200 t	9.0m	2.5m	2.0m	36隻



配信停止・変更・問い合わせはmarutaka@ceres.ocn.ne.jpまで連絡お願い申し上げます。